

ロシア語通訳協会 WEB 学習会のご案内

ドストエフスキイ講演会～『カラマーゾフの兄弟』ほか～

開催日： 2026年1月25日(日)10:00～12:00

講師： 木寺 律子 氏

京都産業大学 外国語学部 ヨーロッパ言語学科

准教授

定員： 50名(先着順)

参加費： 一般 2500円(学生 1800円)

*学生の方は、お申込み時に所属先の教育機関名をお書き添えください。

申込締切： 2026年1月21日(水)午前中

ロシア文学と言えば、プーシキンをはじめドストエフスキイ、トルストイなど様々な文豪の名が思い浮かびます。

その中でも、ドストエフスキイの作品に対しては難解なイメージが根強く、ともすれば敬遠されがちですが、この度、ドストエフスキイ研究に長年従事されている木寺律子様を講師としてお招きし、その魅力についてお話を伺えることとなりました。

文豪が訴える人間性のテーマとは？今この時代に改めてドストエフスキイの作品を読む意味とは？－様々な切り口から掘り下げ、ロシア文学の深淵に触れられるひとときとなれば幸いです。

講師は数多くの市民講座などで幅広い読者層を対象に講演をしてきたため、長編読破を試みたけれど途中でやめられた方、学生時代に読んだことがあり再読にご関心のある方、そして往年のご愛読者の方、それぞれに楽しんでいただけるかと思います。

時間の許す限り、質問の時間も設ける予定です。

どうぞお気軽にご参加ください。

【講演の概要】

F.M.ドストエフスキイ(1821-1881)の最晩年の長編小説『カラマーゾフの兄弟』は筋が複雑だが、作品の細部に着目しつつ、全体像をも把握していけるようにお話ししたい。ドストエフスキイの生涯は昔からよく知られているが、彼の生涯の中でも最近新たに着目されるようになった作家の生涯のエピソードを、作品との関連に応じて適宜紹介したい。

【講師 略歴】

1995 年大阪外国語大学入学、その後同大学大学院へ進学。2008 年大阪大学にて博士号を取得し、同志社大学その他で非常勤講師としての勤務を開始。2012 年 8 月～2013 年 3 月にサンクトペテルブルグのロシア文学研究所とドストエフスキイの家博物館にて、日露青年交流センター日本人研究者フェローとして研究滞在。2021 年から現職の京都産業大学外国語学部准教授。2023 年『ドストエフスキイ：エピソードの変容』出版。

【講師より一言】

学生時代、院生時代から、ロシア語通訳協会の方々から学ぶ機会は多くありました。今回、通訳協会の皆さまの前でお話しさせていただけることを光栄に思っております。

【お申し込み方法】

参加ご希望の方は、2026 年 1 月 21 日(水)までにロシア語通訳協会事務局 info@rus-interpreters.jp までご連絡ください。その際、学生の方は、所属先の教育機関名をお書き添えください。
なお、事務局は 2025 年 12 月 27 日(土)～2026 年 1 月 4 日(日)までお休みとさせていただきます。

ロシア語通訳協会

学習会担当